

MATE.

MATE Fusion **OWNER'S MANUAL**

ORIGINAL INSTRUCTIONS

READ BEFORE YOU RIDE



CONGRATULATIONS

これであなたも MATE.BIKE の正式なオーナーです。
MATE.BIKE を組み上げる際は、本マニュアルに記載されている手順や説明を十分にご理解いただくをお願いします。
とくに安全上の注意事項については、重要な内容となりますので、お乗りいただく前に必ずご確認ください。

また MATE.BIKE オーナーの皆さまには、ご納車より2週間以内にオーナー登録を済ませていただくようお願いしております。お客さまが車体の持ち主であることの証明や、国内正規保証の対象となるために必要な大切な登録です。

ご納車の際にお渡しした（お届けの場合は外装ボックス側面に貼付）オーナー登録用紙の番号と、MATE.BIKE に刻印されている車体番号が一致していることをご確認ください。

用紙の登録用 QR コードをスキャンすると、お客さまのモバイルデバイスからも簡単にオーナー登録が可能です。

登録用の QR コードを紛失してしまった場合や、読み取りできない場合には、以下フォームよりお問い合わせをお願いいたします。



愛を込めて、
MATE.BIKE JAPAN

MANUAL MODEL

MATE FUSION SINGLE SPEED AND 9 SPEED (HYDRAULIC) / 250W / 13AH / 36V

FRAME NUMBER

車体番号の確認

ボトムブラケットの下側（丸で囲まれた部分）に、お客様の MATE.BIKE の車体番号が刻印されています。

MATE.BIKE の紛失や盗難に備えて、記載の番号をこちらにお控えください。
WMAB の後に数字、そして製造年を表す文字が続きます。

盗難や紛失の場合には、保険会社や最寄りの警察署に、本車体番号をお伝えください。
所有者であることを証明するために、ご購入時のレシート、および外装に貼付されている
オーナー登録用紙を大切に保管いただきますようお願いいたします。

オンラインストアでご購入いただいた方の明細書発行方法

1. オンラインストアのアカウントにログインしてください
2. 注文履歴ページの「明細書」より PDF のダウンロードが可能です

氏名 _____

車体番号 _____

モデル・カラー _____

ご購入日 _____



TABLE OF CONTENTS

SAFETY FIRST 安全第一	5
THE MATE.BIKE PACKAGE MATE.BIKE パッケージについて	6
GET TO KNOW YOUR MATE MATE.BIKE をよく知るために	7
ASSEMBLING YOUR MATE FOR THE FIRST TIME MATE.BIKE を組み立てる	8
HOW TO ADJUST FRAME-FOLDING LEVER 折りたたみ式レバーの調整方法	9
THE COMPUTER DISPLAY コンパクト LED ディスプレイ	11
HOW TO OPERATE YOUR MATE MATE.BIKE の操作方法	12
FOLDING / UNFOLDING YOUR MATE MATE.BIKE を折りたたむ / 広げる	13
BATTERY バッテリー	14
SETTING UP MATE FOR YOUR PERFECT FIT 快適なライドのために	18
サドルを調整する	18
ハンドルバーを調整する	19
サスペンションを調節する	20
ブレーキについて	20
ギアについて	21

BEFORE YOU RIDE CHECKLIST 乗る前にチェックする項目	22
MAINTENANCE メンテナンス	23
SPECS 仕様一覧	26
REPLACEMENT PARTS パーツの交換	28
GENERAL TIPS MATE.BIKE を長く楽しむコツ	28
WARRANTY 保証について	29
TROUBLESHOOTING トラブルシューティング (故障かな?と思ったら)	31
OUR STORES MATE.BIKE 直営店	33

アクセサリーパーツの取り付け方法については、こちらをタップ

SAFETY FIRST

安全第一のために

本マニュアルに記載されているガイドラインを守ることは、すべてのライダーの安全を確保し、MATE.BIKE の耐久性を最大化するために非常に重要な項目です。

- ・ 初めて MATE.BIKE に乗る際は、必ず正しく組み上げられていることをお確かめください
マニュアルでは、順を追って説明します。適切に完了させる必要のある主な組み立て手順は、ペダル、サドルの高さ、ハンドルバーの動きと高さ、ホイールです
- ・ クイックリリースレバーが正しくロックされ、動くことなくぴったりと固定されていることを確認してください
- ・ 前後輪・サドルボルト・ブレーキローターを含むすべてのボルトが正しく締められていることを確認してください。ハンドルバーのボルトをしっかりと締める際、ハンドルバーステムとトップキャップ（ハンドルバーの露出部分）の間のスペースが、ハンドルバーの両側で均一な幅であることを確認してください。この作業を怠ると、ボルトが外れたり、ハンドルバーが緩む恐れがあります
ハンドルバーボルト：6-8Nm、ハンドルバーステムボルト：13-15Nm、パーエンドボルト：4-5Nm、サドルボルト：22Nm
- ・ サイクリングに不慣れな方は、一度サイクリング講習を受けられることをお勧めします
- ・ MATE.BIKE をお使いになる前に、毎度ブレーキのテストを行ってください。雨天時や凍結時は、とくにご注意ください
- ・ タイヤの空気圧を頻繁にチェックしてください。(40~65psi の間を維持させる必要があります)
- ・ タイヤの空気圧が低いと、タイヤやリムに損傷を与える可能性があります。車体の寿命を縮めるだけでなく、パンクする恐れがあります。また操作性が損なわれ、コントロールが難しくなる可能性があります
- ・ ヘルメット着用をお勧めします（日本国内では、現在努力義務となっております）
- ・ 交通法規など、適用されるすべての法律を遵守してください

- ・ 飲酒運転はしないでください。少量のアルコールでも判断力を低下させ、安全に運転する能力を低下させる可能性があります
- ・ 悪天候、冰雪、夜間は運転が不安定になることがあります。必要に応じて対策をとってください
- ・ MATE.BIKE を使い慣れていない人には貸したりしないでください。誰かに貸す際は、その方が本マニュアルを読み、完全に理解していることを確認してください
- ・ 脚の長さの許容範囲は、メインフレームと接地面、ライダーの股の位置との間に 1 インチ以上の空間を確保することです
- ・ 全所持品を含むライダーの推奨総重量は、MATE Fusion で 120 kg です
- ・ MATE.BIKE は、主に舗装された道路を走行することを目的としています。それ以外の路面での使用は、危険で事故につながる可能性があるため、お勧めしておりません
- ・ 交通渋滞の中を走行する場合は、細心の注意を払いながら走行してください
- ・ 乗車中に起こりうるすべての状況や状態を予測することは不可能であり、本マニュアルは、すべての状況下で安全に使用できることを表明するものではありません。MATE.BIKE を含む、いかなる乗り物の使用にもリスクが伴います。これらのリスクは予測や回避ができないため、あくまでもライダー自身の責任において対処してください
- ・ ご自身で分解したり、部品を修理したりしないでください
- ・ バッテリーを交換する必要がある場合は、適切に廃棄するか、弊社または MATE.BIKE 取扱店に返送し、適切にリサイクルされるようご協力ください

本マニュアルは日本国内の MATE.BIKE オーナーのためのものです。
適用される法律と規制を遵守し、ライダーご自身で責任を負うことにご注意の上、
ご利用ください。詳細の交通ルールに関しましては、お住まいのエリアの自治体など
にお客さま自身でお問い合わせください。

MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE
TEL : 03-6630-5191
営業時間 : 10:00~18:00 (土日祝日を除く)

THE MATE.BIKE PACKAGE

MATE.BIKE パッケージについて

到着後、外装ボックスに破損等の問題がないことを確認したら、いよいよ開封です。
パッケージには以下のものが入っています。

- ・ MATE Fusion 本体
- ・ バッテリー
- ・ バッテリーキー
- ・ バッテリーチャージャー
- ・ リフレクターセット
- ・ 簡易工具
- ・ オーナー登録用紙（ボックス側面）



※外装ボックス・内容物が破損している可能性がある場合は、すぐに配送業者へ連絡し、申し立てを行ってください。これは配送中に発生した破損により、車体交換や部品交換が必要になった場合に必要な措置です。請求完了後、すぐに MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までご連絡ください。

GET TO KNOW YOUR MATE

MATE.BIKE をよく知るために

1. サドル
2. シートポスト
3. シートポストクイックリリースレバー
4. リアサスペンション
5. ディスクブレーキローター
6. タイヤ
7. スポーク
8. ハブモーター
9. カセットスプロケット
10. リアディレイラー
11. チェーン
12. ハンドルバー高クイックリリースレバー
13. ペダル
14. クランクセット



- 充電口 (裏面) 15.
- バッテリーキーロック 16.
- 折りたたみ式レバー 17.
- LED ディスプレイ 18.
- ハンドルバー 19.
- ブレーキレバー 20.
- ハンドルバーステム 21.
- フロントサスペンションフォーク 22.
- ディスクブレーキキャリパー 23.
- フロントハブ 24.
- リム 25.
- ハブナット 26.
- 内蔵バッテリー 27.
- ハンドルバーステム垂直ロック 28.

ASSMBLING YOUR MATE FOR THE FIRST TIME

MATE.BIKE は、あらかじめ大体の部品が組み上げられているため、少し手を加えるだけですぐに乗ることができます。

注) 説明に不明な点がある場合、または自転車の組み上げに不慣れな場合は、本体とこのマニュアルをお近くの MATE.BIKE 取扱店に持ち込み、資格を持った自転車整備士に組み上げを依頼してください。

正しく組み上げただけだと、部品の故障につながったり、正しく動作しない可能性があります。その結果、怪我や死亡のリスクが高まります。ご注意ください。

HOW TO ASSEMBLE YOUR MATE

MATE.BIKE を組み立てる

1. ハンドルバーステム (21) を直立位置まで起こし、ハンドルバーステム垂直ロック (28) を締めます (7 ページの写真参照)
2. シートポストクイックリリースレバー (3) を開き、サドルを持って引き上げます。シートポスト (2) が所定の位置に固定されるように、レバー (3) を締め直します。より強固に固定する必要がある場合は、シートポストクイックリリースレバー (3) を開き、レバーの反対側のナットを締めてから、レバーを再び閉じます。サドルに乗る前に、シートポストがしっかりと固定されていることをテストしてください。
3. ペダル (13) をライディングポジションまで引き戻します。しっかりと固定されると「カチッ」という音がします。ペダルの締め付けが緩い場合は、ペダルのレンチで増し締めを行ってください。

注) シートポスト (2) およびハンドルバーステム (21) の裏側に明記されている最小差し込み線より上にシートポスト (2) およびハンドルバーステム (21) を上げないでください。シートポスト (2) またはハンドルバーステム (21) を最小差し込み線より上に上げると、シートポストまたはハンドルバーステムのレバーが故障し、その結果、MATE.BIKE を制御できなくなり、重傷または死につながる恐れがあります。



HOW TO ADJUST FRAME-FOLDING LEVER

折りたたみ式レバーの調整方法

ロックするときに折りたたみ式レバー（17）が強くはまらない、またはフレームに対して平らにならない場合は、ロック部や折りたたみレバー（17）とフレームの間隔を調整する必要があります。

ロック部の調整（折りたたみ式レバーがロック時に強くカチッとはまらない場合、またはフレームを折りたたむ際に緩んでいるように見える場合にのみ実行します）

- ・ 折りたたみ式レバーの上にある小さなノブ（安全ノブ）をスライドさせると、レバーが開きます
- ・ レバーを開いたら、上方に突き出ている小さな黒いピンの位置を確認します（銀色円形のバッテリーリリースボタンの近くにありますが）
- ・ ピンの位置を確認したら、折りたたみ式レバーをフレームに押し付けて閉じます
- ・ 3mm サイズの六角レンチを手に取り、小さな黒いピンの裏側にある穴に刺して時計回りに回します。ピンが上に飛び出せば、正しい方向に回っています
- ・ ピンがレバーに届くまで回し続けます。ピンが回せなくなったらレバー到達のサインです

レバーとフレームの間隔調整

（レバーが少し外側に出ている、または緩いと感じる場合にのみ行う）

- ・ 折りたたみ式レバーの上にある小さなノブ（安全ノブ）をスライドさせると、レバーが開きます
- ・ レバーを開いたら、大きな銀色の六角穴付きネジをさがします
- ・ 3mm サイズの六角レンチをネジに刺し、反時計回りに 1/4 回転させ、レバーをフレームに近づけ、レバーの緩みをなくします
- ・ それでもまだレバーが緩く感じたり、フレームに対して平らにならない場合は、さらに反時計回りに 1/4 回転させ、繰り返します
- ・ レバーが簡単に閉まらなくなったら、時計回りに 1/4 回転させて、ちょうどよくなるまでネジを締めてください

注) 折りたたみ部分は、MATE.BIKE 本体の安全性を左右します。ご自身で調整した場合は、確実にロックされるかどうか、ご確認ください。不安な場合は、資格を持つ自転車整備士に点検いただくようお願いいたします。

FEEL THE RIDE.

都会も、自然も、もっと自由に。



THE COMPUTER DISPLAY

コンパクト LED ディスプレイ

操作方法

- ディスプレイの電源を入れる： ディスプレイ上部のオン / オフ (I/O) ボタンを長押しする
- アシストレベルを調整する： ディスプレイ上の+と-を押して、レベルを上げる / 下げる。5 段階調節可能
- ライトを点灯させる： +を 2 秒以上長押しする。消灯も同じく、+を 2 秒以上長押しする
- バッテリー残量を確認する： +の下にあるバッテリー残量メモリでご確認ください



HOW TO OPERATE YOUR MATE

MATE.BIKE の操作方法

MATE.BIKE を組み上げたら、8 時間連続充電を行い、インジケーターが赤から緑に変わったら、いよいよライディングの準備完了です！

以下のシンプルなステップを踏んだら、すぐに出かけましょう。

1. メインフレーム下にあるバッテリーキーロック (16) にバッテリーキーを差し込み、反時計回りに回します。金属ピンがフレームからハンドルに向かって飛び出しているのが確認できれば、正しい方向に回転しています
2. 次にメインフレームにまたがり、両足をしっかりと地面につけて、乗る準備をします
3. ハンドルバー左側にあるディスプレイのオン / オフ (I/O) ボタンを押して、電源を入れます
4. ディスプレイが点灯したら、すぐにボタンから指を離してください
5. ディスプレイが点灯したら、+または-を (約 0.5 秒) 押して、アシストレベルを切り替えます
最低レベルは 1、最高レベルは 5 です。電源を入れると、アシストレベルはレベル 1 から始まります。レベル 0 ではサポートはありません
6. 走り出すには、ペダルを踏み始めるだけです。加速に慣れるまでは、アシストレベルを「1」に設定してペダリングを開始することをお勧めします。慣れてきたら、より高いアシストレベルでペダリングできるようになります
7. 走行が終わったら、ハンドルバーにあるディスプレイのオン / オフ (I/O) ボタンを長押ししてください。ディスプレイが消えたら、すぐにボタンから指を離してください
8. ロックするには、バッテリーキーロック (16) をフレームと平行の向きから 1 クリック回して抜きます。バッテリーを取り外す場合は、内に押し込みながら、さらに 1 クリックを回します。折りたたみ式レバー (17) を開き、メインフレームが開くとバッテリーが取り出せます。バッテリーの充電率が 20% 以下の場合や、次のライドまでに確実に満充電にする必要がある場合は、必ずこのタイミングで充電してください



FOLDING YOUR MATE

MATE.BIKE を折りたたむ



1. 折りたたみ中にケーブルに巻き込まれないよう、バッテリーキー（15）は外しておきます
2. 次に、フレーム中央に位置する折りたたみ式レバー（17）の安全ノブをスライドしながらレバーを引き、フレームを折りたたみます
ヒント：膝を使ってフレームを簡単に折りたたむことができます
3. ハンドルバーステム垂直ロック（28）の安全ノブをスライドしてロックを開き、ハンドルバーを前輪の右方向に倒して折りたたみます。よりコンパクトに折りたたむ場合は、先にハンドルバー高クイックリリースレバー（12）を使ってハンドルバーを下げておきます
4. シートポストクイックリリースレバー（3）を開いてサドルを下げます。下げたらレバーを締め直して、シートポスト（2）が固定されるようにします。このときシートポスト（2）裏側にある番号線を使って元の高さを確認しておく、MATE.BIKE を広げるときに便利です

注）折りたたむときは必ず前輪を左に回し、ケーブルを挟まないように注意してください。ケーブルが損傷する恐れがあります。ケーブルが損傷すると、制御できなくなり、重傷または死につながる危険性があります。

UNFOLDING YOUR MATE

MATE.BIKE を広げる



1. ハンドルバーステム（21）を起こし、ハンドルバーステム垂直ロック（28）を締めます
必要に応じて、ハンドルバー高クイックリリースレバー（12）を使ってハンドルバーを希望の位置まで引き上げます
2. フレームを広げたら、フレーム中央の折りたたみ式レバー（17）を閉じて、所定の位置でロックします
3. シートポストクイックリリースレバー（3）を開き、サドルを元の高さまで持ち上げます。上げたら、シートポスト（2）が所定の位置に固定されるようにレバーを締め直します。より強固に固定する必要がある場合は、シートポストクイックリリースレバー（3）を開き、レバーの反対側のナットを締めてから、レバーを再び閉じます。サドルに乗る前に、シートポストがしっかりと固定されていることをテストし確認してください
4. ペダル（13）をライディングポジションまで引き戻します。しっかりと固定されると「カチッ」という音がします

注）シートポスト（2）の裏側に明記されている最小差し込み線より上にシートポスト（2）を上げないようにしてください。シートポスト（2）を最小差し込み線より上に上げると、シートポストが破損し、制御できなくなり、重傷または死につながる恐れがあります。

BATTERY

バッテリー



内蔵バッテリー（27）は MATE.BIKE の心臓部であり、主要な動力源であるため、常に大切に扱うようにしてください。同梱されているバッテリーチャージャーでのみ充電いただけます。バッテリーキーを使い、電源操作やバッテリーの取り出しをすることができます。

BATTERY FUNCTIONS

バッテリーの操作方法

1. オン：バッテリーキーをフレームに対して平行の向きにまわすと主電源が入ります
LED ディスプレイ（18）の「オン / オフ」ボタンを長押しすると点灯します
2. ロック：「オン」から 1 クリックまわすと主電源がオフになり、バッテリーにロックがかかった状態でキーを抜くことができます。主電源を切る前にディスプレイの電源は切っておきます
3. バッテリーリリース：「ロック」から押し込みながらさらに 1 クリックまわすと、バッテリーロックが解除され、バッテリーを取り出すことができます

注) MATE.BIKE を駐輪する際は、バッテリーを「ロック」の位置にセットしてロックし、バッテリーキーを取り外すことをお勧めします。



INSERTING THE BATTERY

バッテリーを入れる

1. メインフレームを開きます
2. バッテリーの給電部を下にして挿入してください
3. メインフレームを閉じます
4. バッテリーキーを差してまわし（16）、バッテリーの位置をメインフレームに固定します

REMOVING THE BATTERY

バッテリーを取り出す

1. LED ディスプレイの電源を切り、バッテリーキーを「オン」から「バッテリーリリース」にまわして、主電源を切ります。「バッテリーリリース」まではバッテリーキーを押し込みながらまわします
2. バッテリー / メインフレームからバッテリーキーを取り外します
3. メインフレームを開きます
4. フックに指をかけ、バッテリーをメインフレームから引き出します
5. メインフレームを再び閉じます

CHARGING THE BATTERY

バッテリーの充電

注) 付属している充電器以外でバッテリーを充電しないでください。バッテリーが損傷し、バッテリーの保証が無効になる場合があります。

付属の充電器に記載されているすべての指示に従ってください。指示を守り行わなかった場合、バッテリーが損傷したり、火災が発生し、重傷を負ったり死につながる恐れがあります。



本体から直接充電する

1. MATE.BIKE 本体から直接充電する場合は、電源がオフになっていることを確認してください (バッテリーキーが「バッテリーリリース」または「ロック」に入っている状態)
2. バッテリーチャージャーのプラグを、最初にフレームの充電口 (15) に直接差し込み、次にコンセントに差し込んでください
3. 初めて充電する場合は、すべてのセルに電流が流れていることを確認するために、12 時間連続で充電することをお勧めします。この方法の詳細については、16 ページのバッテリーセルバランスのセクションを参照してください
4. 再充電の際は、30 ~ 40 回の充電ごとに完全放電することをお勧めします。それ以外の場合は、バッテリー残量 20 ~ 60% の状態で充電することが、バッテリー寿命を長くするために理想的です
5. 充電サイクルが実行され、電源を入れた直後は、実際のバッテリーの充電量が表示されない場合があります。バッテリーが調整され、正しい充電量が表示されるまでには、最大 30 秒または 1km/0.6 マイルの走行が必要な場合があります
6. 1 つのバッテリーチャージャーで複数の車体を充電する場合、充電器のプラグを都度コンセントから抜く必要があります。これにより、チャージャーがバッテリー BMS を認識して、フル充電を行うことができます

バッテリーを取り外して充電する

前の事項の手順通りにバッテリーをメインフレームから取り外し、充電プラグをバッテリーに直接差し込んだあと、コンセントに差し込んでください。

注) どちらの充電方法においても、ソケットに差し込むと、充電器のインジケーターが一瞬の間のみ緑色になり、その後赤色になることを確認してください。インジケーターが緑色に戻ったら、バッテリーは完全に充電されたこととなります。その後充電器のプラグを抜いてください。

CHARGING THE BATTERY

バッテリーの充電について

バッテリーの充電時間

付属のバッテリーチャージャー (3.0A 充電器) の場合

6 時間で 13Ah バッテリーをフル充電 (残量なしから満充電まで)

※現在のバッテリー使用量、気候条件、過去の充電サイクルにより異なります

バッテリーのセルバランスを整え、走行可能距離を最大にする方法

新しいバッテリーの場合、走行距離やバッテリーの使用量に関わらず、

初回から 3 回目のライド / 充電まで以下の作業を行います。

1. バッテリーを車体から取り外した状態で充電し、インジケーターが緑色になってから最大 4 時間放置します。ただし 12 時間以上は超えないようにしてください
2. 充電プラグをコンセントから外し、その後バッテリーから外してください
3. ペダルアシストを使用して普段通りに乗ります
4. 次の充電を行う前に、バッテリー残量がある状態であっても、あるいは完全放電されていても構いません
5. ステップ 1 ~ 3 を繰り返し、3 回使用してください
6. この作業を行った後は、通常使用いただけます

セルバランスを実施するタイミング

- ・ MATE.BIKE または新しいバッテリーを初めて受け取ったとき
- ・ バッテリーを長期保管した場合
- ・ バッテリー持続時間や充電量の減少を感じたとき
- ・ 定期的を実施する場合は毎月の頻度でも構いませんが、1 ヶ月に 1 回を限度とし、それ以上は実施しないでください

バッテリーを良好な状態に保ち、安全に使用するために知っておきたいポイント

- ・ バッテリーを指定された時間以上、バッテリーチャージャーに繋いだまま放置しないこと
- ・ 充電中にバッテリーから離れて放置しない
- ・ バッテリーが 0°C 以下の場合には充電しない。必ず本体が室温の状態での充電すること
- ・ 充電後、バッテリーを冷ましてから使用する
- ・ バッテリーが 40°C を超える場合は、バッテリーを冷ましてから充電する
- ・ 使用するたびに充電することを避ける
- ・ バッテリーを保管する場合は、常に 70% 以上の充電状態で保管し、毎月点検する

注) バッテリーの動作対象想定温度は -15°C から 45°C の間です。

極端な温度環境下 (0°C 以下または 30°C 以上) に長時間置かれる場合、または長期保管する場合は、バッテリーを取り外し、0°C から 30°C の間で保管してください。

長期保管の場合は、あらかじめ 70% 充電してください。本体温度が 0°C 以下または 40°C 以上のときは、バッテリーを充電しないでください。バッテリーに重大な損傷を与える可能性があります。

BATTERY USAGE

バッテリーの取り扱い

- ・ 乗車中にバッテリー残量が少なくなった時は、できるだけペダルを漕いでバッテリーの使用量を少なくし、バッテリー残量を保ちながら帰宅することをお勧めします
- ・ 帰宅後は、できるだけ早く充電してください
- ・ より長くお使いいただくために、 unnecessary ブレーキは控え、できるだけ惰性で走行してください
- ・ ペダルを漕ぐ時は、トルク過負荷によるモーターへの負担を最小限にするため、RPM / 回転数（ケイデンス）を高くしてください
- ・ 上り坂を走る時や、特に急な坂道では、できるだけ低い（一番楽な）ギアに設定し、少なくとも 60% の力で走らせてください
- ・ タイヤの空気圧は常に、40 ~ 65psi の間で適切な値に設定してください。空気圧は 1 週間ごとにチェックするのがベストです
- ・ すべてのケーブルが良好な状態にあり、しっかりと接続されていることを定期的に点検してください
- ・ ブレーキパッドを定期的に点検し、交換が必要であるか、ブレーキローターと擦れていないか（バッテリー残量を著しく低下させる可能性があります）を必ず確認してください
- ・ 駐輪する際は、必ず電源をオフにしてください



バッテリー：重要事項

MATE Fusion：リチウムイオン電池

電圧：36 V

容量：13 Ah

電池寿命：600 ~ 800 回の充電サイクル（充電容量が 70% を下回るまで）

注) バッテリーを分解しないでください。バッテリーを燃やしたり、穴を開けたり、水中に沈めたり、いかなる方法によっても損傷させないでください。バッテリーに手を加えると、その時点で保証が無効となるだけでなく、重傷または死亡事故の原因となります。

バッテリーが破損しているように見える場合は、使用しないでください。異音、異常発熱、液漏れなどの異常がある場合は、直ちに使用を中止してください。バッテリーは直射日光の当たらない、風通しのよい場所に保管してください。バッテリーの破損や消耗を防ぐため、0°C から 30°C の間で保管してください。



SETTING UP MATE FOR YOUR PERFECT FIT

快適なライドのために — サドルを調整する

サドルの高さ

サドルの高さを調整するには、フレーム上のシートポスト(2)が入る部分にある、シートポストクイックリリースレバー(3)を開いてください。開いたら、最小差し込み線を超えない範囲で、サドルを好みの高さに調整します。サドルの向きが中央(フレームと一直線)になるように合わせてください。高さが決まったら、レバー(3)を固く締め付け、サドルがしっかりと固定されるようにします。サドルを左右に動かしてみて、確実に固定されていることを確認してください。

注) シートポスト(2)の裏側に明記されている最小差し込み線より上にシートポスト(2)を上げないようにしてください。シートポスト(2)を最小差し込み線より上に上げると、シートポストが破損し、MATE.BIKEを制御できなくなり、重傷または死につながる恐れがあります。

サドルの前後・傾き位置

サドルを前方/後方に移動させたり、サドルのノーズをわずかに上方/下方に傾けるには、サドルの下、シートポスト(2)の上部にあるボルトを緩めます。(6mmの六角レンチが必要です) 緩めたら、サドルを理想的な位置に移動させます。リミットラインを超えないようにしてください。位置が決まったら、安全のためにボルトを22Nmのトルクでしっかりと締め付けます。サドルを手動で上下、前後に動かしてみて、しっかりと固定されていることを確認してください。

SETTING UP MATE FOR YOUR PERFECT FIT

快適なライドのために —ハンドルバーを調整する

ハンドルバーの高さ

あなたのライディングスタイルや快適な高さに合わせてハンドルバー (19) を調整します。
まず、フレームのフロントエンド横にあるハンドルバー高クイックリリースレバー (12) を緩めます。
ハンドルバーを希望の高さに調整し、ハンドルバーが前輪に対して垂直になるように中心を合わせます。その後、レバーをしっかりと締め付けます。締め付けたら、手でハンドルバーを左右に動かしてみ、確実に固定されていることを確認してください。



注) 最小差し込み線 (連続した縦線の溝部分) を露出させないでください。
最小差し込み線が完全に覆われて、見えない状態に合わせる必要があります。ハンドルバーとフレームを繋ぐハンドルバーステムがこれより高く上がっていると、差し込みが浅くなり、ステム・ハンドルバーの破損の恐れやライダーが重傷を負ったり死につながる危険性があります。



ハンドルバーの回転

ハンドルバー (19) の回転位置をあなたのライディングスタイルやお好みの位置に合わせて調整します。

まず、ハンドルバー (19) にあるハンドルバーステム (21) のボルトを少し緩めます。ブレーキレバー (20) に無理なく手が届き、安全にブレーキができる位置であることを確認しながら、ハンドルバーを希望の位置まで回転させます。締め付ける前に、ハンドルバー (19) がきちんと中央にあることを再確認してください。

その後、ハンドルバーステム (21) のボルトをしっかりと締め付けます。次に、ハンドルバーステム (21) とトップキャップの間隔が、ハンドルバー (19) の両側とも均等であることを確認します。しっかりと締め付けたら、ハンドルバー (19) を手で回転させ、確実に固定されていることを確認してください。

警告：ハンドルバー (19) がしっかりと固定され、ブレーキレバーが楽に届く位置にあることを確認してください。これを怠ると、走行中に車体制御ができなくなり、重傷または死につながる恐れがあります。

また、ステムクランプの両側でステムベースとトップキャップの間隔が均等でないと、ハンドルバーが緩んだりネジが破損することにより、重傷または死につながる可能性があります。これらのいずれかを正しく行ったかどうか不明な場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE へお問い合わせください。

SETTING UP MATE FOR YOUR PERFECT FIT

快適なライドのために サスペンションを調整する

フロントサスペンションフォーク (22) とリアサスペンション (4) は、あらかじめ調整されています。体重やライディングスタイルに合わせてフロントサスペンションをさらに調整するには、フォークの左上にあるキャップを外し、規定値まで加圧してください。これにはエアサスペンションポンプが必要になります。

右上のノブはロックアウトレバーです。時計回りでロックがかかります。半時計回りでサスペンションの強さを調節してください。

空気チャート

RIDER WEIGHT	AIR SETTING
121 lb. 55kg	70-80 psi
121-140 lb. 55-63kg	80-90 psi
140-156 lb. 63-71kg	90-100 psi
156-176 lb. 71-80kg	100-110 psi
>176 lb. >80kg	>110+ *psi

最大値 150psi (150psi を超えないでください)



ブレーキについて

前輪と後輪には、ブレーキをコントロールするためのディスクブレーキ (5) (23) があらかじめ搭載されています。

注) 調整を行う前に、ブレーキローターを固定しているネジが固く締まっている、または 6Nm のトルクで締め付けられていることを再確認してください。

乗っているうちに、ブレーキパッドは薄くなっていきます。摩耗したらすぐに交換できるように、常に注意を払ってください。ブレーキについて不明な点がある場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE もしくは MATE.BIKE 取扱店に持ち込み、専門家のアドバイスをもらってください。

安全にお乗りいただくために

- ・ 左のブレーキレバーで前輪、右のブレーキレバーで後輪を操作することに注意してください
- ・ 急ブレーキや強いブレーキをかけると、MATE.BIKE から落下する恐れがありますので、ご注意ください
- ・ ブレーキをかけるときは、体重を少し後方に傾けて、ブレーキによる抵抗を軽減するようにします
- ・ ブレーキパッドは日常的に摩耗するため、摩耗状態に注意してください。安全なブレーキ制御を維持するために、摩耗しているように見えるか、またはそれに近い場合は、すぐに自転車整備士に交換を依頼してください

重要：毎度乗車前に、ブレーキが正常に作動していることを確認してください。

警告：毎度走行前にはブレーキを点検・テストしてください。ブレーキの摩耗、汚れ、損傷、不適切な調整がある場合、MATE.BIKE の制御力が低下し、重大な怪我や死亡事故につながる可能性があります。ブレーキが正しく作動していない場合は、MATE.BIKE に乗らないでください。

ギアについて

MATE Fusion は、9 段変速ギアを装備しています。

ギアチェンジは、ボトムレバーを押すとギアが下がり、トップレバーを押すとギアが上がります（シフター内のインジケーターを参照）。1 クリックごとに 1 段ずつギアチェンジされ、数字が上がるほど抵抗が大きくなります。ペダリングの快適さに合わせてギアを変えてください。スムーズなギアチェンジを実現するために、ギアチェンジの際は必ずペダルを踏んでください。また、急な坂道を登るときは、ギアを下げ、ペダリングケイデンスを上げてください。これらは、ドライブトレインのコンポーネントを長持ちさせることにもつながります。



ギア調整

必要に応じてシフトを調整するには、まずチェーン（11）を一番小さいカセットスプロケット（9）に移します。次に、1 クリックしてチェーンを次のスプロケットに移動させます。ペダルを回して、うまく変速できたかどうかテストします。次のスプロケットに移動しなかった場合は、シフトレバーのパレルアジャスターを反時計回りに 1/4 回転させてインナーワイヤーのテンションを締め、再度ペダルを踏んでシフトをテストします。

それでも次のスプロケットに移らない場合は、さらに 1/4 回転させて、次のスプロケットにスムーズにシフトするまでペダルを踏んでみてください。

2 枚目のスプロケットに移動したら、同じ方法で次の大きなスプロケットまでスムーズに上がることを確認し、7 枚目の（一番大きな）スプロケットにチェーンが乗るまでテストしてください。

一番大きなスプロケットまで到達したら、今度は一番小さいスプロケットに戻るために、同じ要領で逆回転させ、スプロケットを下らせていきます。

1 クリックすると、チェーンが一番大きいスプロケットから小さいスプロケットに移動します。ペダルを回して、うまくシフトしたかどうかテストします。

次のスプロケットに移動しなかった場合は、パレルアジャスターを時計回りに 1/4 回転させて、インナーワイヤーのテンションを緩め、再度ペダルを踏んでシフトをテストします。それでも次のスプロケットに移らない場合は、さらに 1/4 回転させて、次のスプロケットにスムーズにシフトするまでペダルを踏んでみてください。

2 枚目のスプロケットに移動したら、同じ方法で次の小さなスプロケットまでスムーズに下がることを確認し、一番小さいスプロケットまで戻ります。

ギアを調整しても MATE.BIKE がスムーズに変速できない場合は、ディレイラーハンガー（10）がまっすぐかどうか、必ず確認してください。自転車が横倒しになったときに衝撃を受ける部分で、自転車の他の部分に傷がつかないようにするため、ハンガーが内側に曲がるように設計されています。ハンガーがまっすぐで、内側に曲がったり、ねじれたりしていないことを確認するには、MATE.BIKE の後ろに立ち、ハンガーがリアディレイラー（10）のプリーホイールと完全に一直線になっているかどうかを見てください。また、ハンガーには目に見える湾曲はないはずですが、もしもハンガーが曲がっているように見える場合や、この説明書の内容に不明な点がある場合は MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE へお問い合わせください。

MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE

TEL : 03-6630-5191

営業時間：10:00~18:00（土日祝日を除く）

アシストについて

LED ディスプレイ（18）では、アシストレベルを 5 段階より選択できます。5 が最も高いレベルのアシストです。

BEFORE YOU RIDE CHECKLIST

乗る前にチェックする項目

警告：MATE.BIKE を使用するたびに、以下の項目に従って必ず車体をチェックしてください。このチェックリストに沿わずに使用すると、不具合が見落とされる可能性があり、重大な怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

- ・ シートポストクイックリリースレバー (3) がしっかりと固定されていること
また、サドル (1) のボルトがしっかりと締まっていることを確認する
- ・ ハンドルバーを固定しているボルトがしっかりと締まっていること
- ・ ハンドルバーステム垂直ロックとその安全ノブが確実に固定されていること
- ・ フレームの折りたたみ式レバー (17) とその安全ノブがしっかりと固定されていること
- ・ キックスタンド、フロント / リアホイール、ブレーキローターなど、その他のボルトや留め付け部分がしっかりと締まっていることを確認する
- ・ ブレーキとギアが正しく機能するか確認する
- ・ バッテリーが十分に充電されていること
- ・ バッテリーが MATE.BIKE に正しく装着され、LED ディスプレイ (18) 上部のオン / オフボタンで電源が入ることを確認する
- ・ タイヤ (6) の空気圧が 40~65psi であること
- ・ タイヤが損傷していないこと
- ・ リフレクターが適切に取り付けられていること



MAINTENANCE

メンテナンス

チェーンの消耗

新品のチェーン（11）は、ピンの真ん中からピンの真ん中まで、12リンクでちょうど30.48cm（12インチ）あるはずですが、もし、チェーンが12リンクで30.48cmを1.59mm（12インチを1/16インチ）超えていたら、チェーンを交換する時期が来ています。12リンクで30.48cmを3.18mm（12インチを1/8インチ）超えていたら、カセットも交換する必要があるかもしれません。定規で計測するのが難しい場合は、お近くの自転車販売店でチェーン摩耗工具を購入することができます。不安が残るようであれば、MATE.BIKE 取扱店にてご確認ください。

チェーンやすべての可動部品が常に効果的に機能するように、必ず潤滑油を補給してください。潤滑油は、可動部が乾いているときに使用する必要があります。チェーンについては、洗車のたびに、また雨天時の走行後（とくに路面に塩がある場合には忘れずに）、乾いたチェーンに潤滑油を塗布してください。とくに路面に塩がある場合は、目的に応じたチェーン専用潤滑剤を使用してください。多用途タイプの潤滑剤は、汚れを吸着して保持し、チェーンの寿命を縮める可能性があります。

シートポスト

シートポストクイックリリースレバー（3）が閉じにくくなったら、レバーの回転ピボットポイントに薄くオイルを塗布します。ピボットポイントが緩み、シートポストをしっかりと固定できるようになるまで、繰り返し開閉してください。

タイヤの空気圧

最低でも月に2回、理想的には週に1回、必ず点検してください。40~65psiの間に保つことをお勧めします。空気圧が低すぎる状態で走行すると、以下のようなことが起こります。

1. バッテリー充電あたりの走行距離が短くなる
2. タイヤの磨耗が激しくなる
3. パンクの危険性が高くなる
4. 空気圧が不十分なタイヤはオーバーステアになりやすく、ハンドル操作に影響がでる



MAINTENANCE

メンテナンス

油圧式ブレーキ

ブレーキの制動力不足を感じたら、以下の手順でトラブルシューティングを行ってください。
油圧式ブレーキは、パッドが薄くなると自動補正されるため、通常、パッドの摩耗によって生じるローターとの距離は関係ありません。

ブレーキが鳴くときは

- ・ イソプロピルアルコールに浸したきれいな雑巾などで、ローターの油や残留物を取り除く必要があります
- ・ パッドはヤスリで削り、パッドホルダーにしっかりとめ込む必要があります。これにより、路面のほこりや油分による被膜が取り除かれます
- ・ パッドは磨耗していきます。パッドの厚さが 0.5mm 以下になったら、新しいものを購入する時期です

制動力がないと感じたら

まず、ブレーキレバーがハンドルバーから少し外側に離れるように調整してみてください。レバーの内側にあるソケットスクリューを、適切な制動力が得られるまで、2mm の六角レンチで時計回りにまわします。

または、ブレーキシステム内のブレーキオイルが十分でないために発生することもあります。それは、以下のような原因で起こることがあります。

- ・ 油圧システムからオイルが漏れ出ている、またはブレーキのブリーディングとブレーキオイルの交換が必要である状態。このような場合は、お近くの MATE.BIKE 取扱店に MATE.BIKE を持ち込み、オイル漏れの修理、あるいはブレーキのブリーディングとオイルの交換を依頼してください。ベストな性能を得るためには、ブレーキオイルを 1 年に 1 回交換する必要があります

- ・ MATE.BIKE を上下逆さまにしたため、オイルがブレーキレバーのオーバーラン・チャンバーに移ってしまった。これを解決するには、MATE.BIKE を通常の位置に戻し、両輪を地面につけます。その後、オイルがブレーキキャリパーに戻るまで、ブレーキレバーを繰り返し引いてください
- ・ ブレーキオイルが空気に触れたことによるエア混入やオイルの汚染により、レバーからキャリパーへの制動力の伝達を妨げている。このような場合は、お近くの MATE.BIKE 取扱店に MATE.BIKE をお持ち込みいただき、ブレーキオイルのブリード、または交換を依頼してください

ブレーキパッドが汚れていると、ブレーキの制動力が得られないことがあります。この場合はパッドを取り外し、ヤスリで削ってから、再びしっかりとめ込む必要があります。

注) 油圧ブレーキを使用する場合、ホイールやパッドを取り外した状態でレバーを引かないように注意してください。

ブレーキの安全な操作方法がわからない場合は、資格を持った整備士に確認してください。ブレーキが正しく作動していない場合は、MATE.BIKE に乗らずに、お近くの MATE.BIKE 取扱店で、修理を依頼してください。この指示に従わない場合、重大な怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

自転車のメンテナンスと整備は、すべて所有者の責任で行ってください。これを怠ると、保証が無効になったり、MATE.BIKE や部品の損傷、事故の原因となることがあります。



BEYOND THE SUN

フュージョン（融合）とは、新しいものを生み出すこと。

MATE Fusion は、MATE.BIKE のベスト、
スタイルとパフォーマンスを融合させたハイブリッドモデルです。

フレームのロゴやカラースキームを一新したオールテラインモデルは、
通勤・通学などのシティライディングだけでなく、砂利道やアウトドアにも対応。
9 スピードのギアシステムを採用し、アーバン、アウトドアの坂道にも適したデザイン。

MATE X のアドベンチャー性と MATE City の利便性を兼ねそそえた
ハイブリッド e-BIKE は、新しい可能性を切り開きます。

簡単に折りたたんで好きな場所に持ち運んだら、どんな場所も冒険の舞台に。

私たちは、人生を豊かにするライディングをつくります。

モデル	MATE Fusion
最大速度	24 km/h
最大距離	最高 80 km (ペダルアシスト時)
寸法 (展開時)	長さ: 160 cm x 幅: 57 cm x 高さ: 108 cm
寸法 (折りたたみ時)	長さ: 90 cm x 幅: 40 cm x 高さ: 68 cm
重さ	26 kg
外装寸法	長さ: 100 cm x 幅: 50 cm x 高さ: 70 cm
ライダーの身長許容範囲	142~210 cm
ライダーの体重許容範囲	~125 kg
フレーム	6061 アルミ合金折りたたみフレーム (下向き溶接)、20 インチタイヤ
フロントサスペンションフォーク	ロック付き Vibee WB325 エアサスペンション、アルミ合金 190 x 20 インチホイール
リアサスペンション	ショックアブゾーバー、最大動荷重 340 kg
モーター	36V 250W、45Nm フリーホイール付きブラシレスモーター
コントローラー	Bafang
バッテリー	リチウムイオン 36V 13Ah
バッテリーチャージャー	42V 3A 100-240V、3 ピン セーフティコネクションプラグ
LED ディスプレイ	Bafang BT enabled (Bluetooth 対応)
センサー	Bafang トルクセンサー
タイヤ	20 x 2.40 インチ アーバンタイヤ
インナーチューブ	20 x 2.40 インチ Schrader (オート) バルブ、ブラック
クランクセット	165mm アーム
フロントホイール	20 インチ
リアホイール	20 インチ
ハンドルステム	折りたたみ式 2 セクション テレスコピックステム、235 mm Ø 31.8 セルフロック、4 ボルト /M6 x 22
ハンドルバー	アルミハンドルバー 560 x 31.8 mm

ハンドルクリップ	130mm TPR シングルパス (アルミクランプ付き)
ヘッドセット	28.6 x 44mm 302 AC
サドル	コンフォートフォーム、265 x 195 mm
シートポスト	アルミポスト 33.9 x 450mm (プロテクターとクイックリリースクランプ付き)
ギアシフター	9 段
チェーンリング	52 トゥースチェーンリング (バッシュガード付き)
フリーホイール	9 段 11-38T / シングルスピード 16T
リアディレイラー	9 段
チェーン	118 リンク、1/2 x 3/3、耐摩耗
ブレーキ	Zoom 160 mm 油圧式ディスクブレーキ
ペダル	Wellgo 折りたたみ式、アルミ、9/16 インチ
キックスタンド	20 インチ、調整可能、アルミ
その他同梱物	バッテリー バッテリーキー バッテリーチャージャー (充電器) リフレクターセット



REPLACEMENT PARTS

パーツの交換

タイヤ、インナーチューブ、潤滑剤、チェーン、ブレーキパッドは比較的消耗が早いので、常に予備を用意しておくことが安心です。

交換が必要な部品があり、交換方法がわからない場合や交換が難しい場合は、MATE.BIKE 取扱店に持ち込みいただくことをお勧めします。これには、ケーブル / ハウジング、ベアリング調整、ブレーキ調整、ホイール調整などが含まれます。最適なレベルの性能を確保するために、必ず MATE.BIKE のオリジナル部品と交換してください。

注) あらゆる機械製品と同様に、摩耗や強い負荷にさらされます。また素材や部品によって、摩耗や負荷への耐性が異なる場合があります。部品の設計寿命を超えた場合、突然故障し、ライダーが負傷する可能性があります。負荷の強い部分に亀裂、傷、色の変化があれば、部品の寿命が来ていることを示しており、交換する必要があります。

摩耗した部品を修理または交換しないと、車体をコントロールする能力が低下し、重傷または死につながる可能性があります。

GENERAL TIPS

MATE.BIKE を長く楽しむコツ

- ・ 定期的に、少なくとも年に 1 回は自転車整備士によるフルチューンアップとメンテナンスチェックを受けることをお勧めします。頻繁に乗る方は、よりこまめに点検をお願いしてください
- ・ 雨や水しぶきに強いですが、電気部品は水浸しにしないでください
- ・ 洗車する際は、バッテリーを外し、洗剤と水のみを使用してください。水ですすぐときは、一般的な低圧の庭用散水ホースよりも強いものは使用しないでください。モーターやピボット、接続部分、ベアリングが搭載されている部分（ヘッドセット、ボトムブラケット、ハブを含む）には直接水をかけないように注意してください。どのような場合でも、高圧ホースは絶対に使用しないでください
- ・ サビを防ぐため、雨天時の走行後は必ず車体や部品を乾かしてください。車体とバッテリーは乾燥した場所に保管してください

注) バッテリー、モーターやコントローラーを分解しないでください。分解してしまうと、いかなる場合であっても保証の対象外となるだけでなく、非常に危険です。異常や問題が発生した場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE またはお近くの MATE.BIKE 取扱店へご連絡ください。メンテナンスの際は、必ずバッテリーを取り外してください。これらの指示に従わない場合、重傷を負ったり死亡事故につながる恐れがあります。

WARRANTY

保証について

◆保証について

株式会社 MATE.BIKE JAPAN は、自らの単独の裁量により、損傷、不具合、故障または他の損害が、MATE.BIKE 製品保証の対象となる原因によるものであるか否かを決定いたします。

◆保証条件

・本保証は、適用される強行法規によって別段の決定がなされない限り MATE.BIKE の原所有者のみに適用されます

・保証請求を行う場合、保証請求が処理されるためには、自転車の納品後 2 週間以内にオーナー登録を登録完了させる必要があります。また登録された名義ご本人のみ保証請求が可能となります

・保証請求は、問題発生日から 2 ヶ月以内に実施する必要があります

・本保証は、交換パーツそれ自体のみを保証対象とし、配送料や部品装着の費用を負担するものではありません

・自転車販売店が行ういかなる保証サービスまたは保証により交換されるいかなる部品についても、必ず事前に MATE.BIKE 社から承認を受けることとし、例外は認めないものとします。また、MATE.BIKE 社は、あらゆる保証請求について、却下する権利を留保します

◆保証の対象外

製品を定期的に点検し、通常のサービスや部品交換の必要性をチェックするのはお客様の責任において実施していただいております。

・取扱説明書の指示に対する不遵守、改造 (カスタム) または不適切な組立に起因する損傷または欠陥

・不可抗力、事故、乱用、誤使用、放置、酷使、雨ざらし保管、商業的使用

・MATE.BIKE またはその部品の通常の損耗 (例 : タイヤ、インナーチューブ、プレーキパッド、チェーンなど)

・不具合発生後の MATE.BIKE の使用や、自主的な修復を試みたことにより不具合発生時の当該箇所の状況確認が困難となっている車体

・ MATE.BIKE に関する高度な知識を持つ修理対応店舗により行われた修理である場合を除く修理を試みたことによるパーツの損傷

・ MATE.BIKE またはその部品に対する無許可の改造 (カスタム)

・ 国内基準に適合しない仕様または設定となっている車体及び、当該車体を使用したことによる損傷

・ サイト掲載画像と実際の製品の色味や質感の差異等

・ 機能面及び使用面に影響のない音や振動などの感覚的事象

・ 製造過程、点検整備中にやむを得ず生じる微細な傷、一度でも使用されたあとで発見された傷や塗装の不具合

・ 輸送中にやむを得ず生じる外観上の微細な傷、雨による多少の濡れ

・ 個人輸入やクラウドファンディング等の並行輸入品・中古品・セカンドオーナー

・ 時の経過による変化で発生したもの (塗装面、メッキ面、プラスチック部の色の退色など)

・ 点検、清掃、整備のための費用

・ 直営店以外での修理費用

・ 電話代、運送代、レンタカー代等の修理に付随する費用

・ 休業補償ならびに MATE.BIKE を使用できなかったことによる損害

◆14 日間限定 初期不良保証

お客様が MATE.BIKE を受け取ってから 14 日以内に、重大な欠陥 (意図したとおり自転車に運転するための所有者の能力に著しい影響を及ぼすもの) が MATE.BIKE に発生した場合、弊社は、自らの裁量により、お客様の MATE.BIKE の欠陥パーツを修理もしくは交換するか、または修理不能の場合には、合理的な期間内に、MATE.BIKE 全体を返品交換させていただきます。上記のとおり、弊社は、自らの単独の裁量により、損傷、不具合、故障または他の損害に関する請求が、「重大な欠陥」によるものであるか否かを決定いたします。これに該当する欠陥による修理または交換については、MATE.BIKE 社が費用を負担して行います。

無償交換対応、または返品・返金対応の場合、納品時に MATE. が梱包されていたボックスが必要になりますので、初期状態の確認が完了するまでボックス及び梱包材は破棄しないでください。

※ボックスがない場合、配送業者による集荷配送にて対応いたします。配送に関わる費用に関しましてはお客様負担となりますことを予めご了承ください。

※大型商品のため対応にお時間をいただく場合がございます。

※交換商品が完売している場合、返金対応になりますので予めご了承下さい。

※製品のご納車後、必ず製品の状態確認を行って頂きますようお願いいたします。

WARRANTY

保証について

◆2年間限定 部品保証

部品保証の対象は次部品に限ります。

フレーム本体 / ディスプレイ / コンピューター / モーター / 配線 / バッテリー (1年)

上記の部品については、お客さまが MATE.BIKE を受け取った日から2年間、メーカーによる材料または製造上の欠陥がないことを保証します。本保証は通常の損耗を対象としていません。

通常の走行や自然な摩耗により損傷する可能性があるため、以下の部品は保証の対象外となります。ブレーキ / タイヤ / フォーク / リアサスペンション / ステム / ハンドルバー / グリップ / シートポスト / サドル / ブレーキ / ボトムブラケット / クランクセット / ペダル / リム / スポーク / ホイールハブ / フリーホイール / スプロケット / ディレイラー / シフター / ワイヤリングハーネス / キックスタンド / リフレクターおよび金具類。その他消耗品の消耗、磨耗と考えられるもの。アクセサリパーツ、オプションパーツにつきましても同様に本保証の対象外となります。

上記の2年間限定部品保証は、交換パーツそれ自体のみを保証対象とし、配送料や部品装着の費用を負担するものではありません。お客さまがご自身の MATE.BIKE に修理が必要と考える場合または問題が発生していると考えられる場合、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE にお問い合わせいただくか、お客さまの MATE.BIKE を最寄りの自転車販売店にお持ち込みいただき、保証適用の判断とサポートを受けられることをお勧めいたします。

◆1年間限定バッテリー保証

リチウムイオンバッテリーについては、最初の購入日から1年間、メーカーによる材料または製造上の欠陥がないことを保証します。バッテリーの使用状況を知ることができないため、弊社では、バッテリーの寿命または充電容量の減少を保証することはできません。

◆保証の適用地域・適用車種

本保証は、日本国内で使用され、日本国内で販売された車体のみ適用いたします。したがって、海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りになります。



TROUBLESHOOTING

トラブルシューティング (故障かな?と思ったら)

<p>電源が入らない、または充電器が接続されているときだけ電源が入る</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. バッテリーキーが「オン」の位置になっていることを確認してください 2. 主電源を切った状態で充電器のインジケーターが緑色に点灯するまで、バッテリーを4時間以上かけてフル充電してください。 *「バッテリーの充電」を参照してください 3. ケーブル接続状態をすべて点検し、ケーブルに損傷や汚れがないかを確認してください 4. MATE.BIKE JAPAN ホームページ内、「HELP」を参照してください 5. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までご相談ください 	<p>電源は入るが、ペダルアシストが機能しない</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. パワーアシストレベルが「1」以上の値であることを確認してください。レベル「0」ではアシストパワーは作動しません 2. 再起動してください。起動中にブレーキレバーを引かないでください (ブレーキがモーター動作を切ってしまう) 3. アシストレベル設定をディスプレイで確認してください 4. ケーブル接続状態をすべて点検し、ケーブルに損傷や汚れがないかを確認してください 5. ブレーキセンサーケーブルを一本ずつ外し、どのケーブルが作動しないのか確認してください 6. エラーメッセージ” Error 05” が表示されている場合は、「ブレーキセンサー感度の調整方法」を、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までお問い合わせください 7. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE まで、上手くいかなかった内容を添えてご連絡ください
<p>バッテリーに接続されていても充電器のインジケーターが緑色のまま、またはバッテリーがフル充電できない</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 充電器をバッテリーに接続した後に、コンセントに差し込んでください 2. 複数のバッテリーを充電する場合は、それぞれ充電が完了するたびに一度コンセントを抜いてください 3. MATE.BIKE からバッテリーを取り出してから充電してください 4. マルチメータを使って電力があるか、正しい電圧が供給されているかを確認してください。正しい電圧値は充電器に記載されています 5. 本マニュアル内、「バッテリーの充電」を参照してください 6. MATE.BIKE JAPAN ホームページ内、「HELP」を参照してください 7. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までご相談ください 	<p>ディスプレイに以下のエラー表示が出た場合：</p> <p>-Error 01 / 通信エラー</p> <p>-Error 02 / コントローラー保護</p> <p>-Error 03 / 三相電源エラー</p> <p>-Error 07 / ホールエラー</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. コントローラーへの配線を含む、ケーブルすべての接続状態を点検してください (ケーブルにダメージや異物・汚れがないか、またはプラスチックが焦げたような匂いがしないか、などもこれに含まれます) 2. バッテリーやケーブルなどが熱を持っていないことを確認してから、MATE.BIKE を再起動してください 3. ディスプレイのプラグを抜き、接続に異常がないか確認したら、ディスプレイのプラグを再度差し込み、再起動してください 4. クランク付近の PAS センサーのプラグを抜き、コントローラーに再度接続し、再起動してください 5. MATE.BIKE JAPAN ホームページ内、「HELP」を参照してください 6. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE へお問い合わせください
<p>エラーメッセージ “Error 06” がディスプレイに表示される</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケーブル接続状態をすべて点検し、ケーブルに損傷や汚れがないかを確認してください 2. ディスプレイのプラグを抜いて接続を点検し、ディスプレイを再接続して MATE.BIKE を再起動してください 3. MATE.BIKE JAPAN ホームページ内、「HELP」を参照してください 4. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までご相談ください 		

TROUBLESHOOTING

トラブルシューティング (故障かな?と思ったら)

走行距離が短い ステアリングがおかしい ペダルを漕ぎづらい	<ol style="list-style-type: none">1. タイヤに表記されている値までタイヤに空気を入れてください2. パッドに磨耗がないかブレーキ調整を確認してください (タイヤを持ち上げて回転させ、著しく磨耗していないか確認してください)3. いつもより長く充電する、または本マニュアル内バッテリーの章にあるバッテリーセルバランスを行ってください4. MATE.BIKE 取扱店に持ち込み、原因となる問題を調べてもらってください5. MATE.BIKE JAPAN ホームページ内、「HELP」を参照してください6. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までご連絡ください
バッテリーがフル充電 されない	<ol style="list-style-type: none">1. バッテリーが新しい場合は、充電器のインジケータが緑色に変わってから最大 4 時間まで過充電してください2. バッテリーを充電するために適切な値が出力されているか、チャージャーの電圧を確認してください3. バッテリーのヒューズをチェックしてください。損傷があれば、交換してください4. 本マニュアル内、バッテリーの章を参照してください。5. MATE.BIKE JAPAN ホームページ内、「HELP」を参照してください6. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE までご相談ください
ブレーキが軽すぎる、 またはブレーキの異音が 気になる (ブレーキの修理または 調整が必要です)	<ol style="list-style-type: none">1. 本マニュアル内、「メンテナンス」のブレーキの章を参照してください2. 芯ずれや磨耗がないかブレーキ調整を確認してください3. アルコールでブレーキローターを掃除し、オイルやグリース、その他の残留物が残っていないか確認してください4. MATE.BIKE JAPAN ホームページ内、「HELP」を参照してください5. MATE.BIKE 取扱店に持ち込み、ブレーキを点検してもらってください6. 上記を試しても解決しない場合は、MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE へお問い合わせください

ギアが正しく切り替わ らない (ディレイラーの調整が 必要です)	<ol style="list-style-type: none">1. リアディレイラーハンガーが正しい位置にあるか確認してください (特に転倒や運搬、配送時など MATE.BIKE がディレイラーハンガー側に倒れた場合)2. シフターケーブルのテンションが正しく調整されているか確認してください。*「ギアについて」のページを参照してください3. MATE.BIKE JAPAN ホームページ内、「HELP」を参照してください4. MATE.BIKE 取扱店に持ち込み、ギアやシフト調整の点検を行ってください
---	--

MATE.BIKE CUSTOMER SERVICE

お問い合わせフォームはこちら



TEL : 03-6630-5191

営業時間 : 10:00~18:00 (土日祝日を除く)

OUR STORES

MATE.BIKE 直営店



MATE.BIKE TOKYO

〒107-0062 東京都港区南青山 6 丁目 8-18

TEL : 03-6277-3987

BUSINESS HOURS : 11:00~19:00 / 不定休



MATE.BIKE OSAKA

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 4 丁目 11-14

TEL : 06-6484-8130

BUSINESS HOURS : 11:00~19:00 / 不定休



IT'S NOT JUST A BIKE.

IT'S A VEHICLE OF PERSONAL EXPRESSION.

MATE.BIKE はアーバンモビリティに対する概念を変えていきます。

プロダクトを自己表現、自己実現、未来を築くためのツールに変えていくこと。

人々の世界観や価値観を広げ、楽しみながらより良い選択ができる商品を提供する。

この目標はいつまでも MATE.BIKE の DNA です。

そして革新を表現するために設ける 3 つの視点は、ファッション、テクノロジー、サステナビリティ。

常にそのすべてが連動することを目指しています。

MATE.BIKE は、決して単なる自転車ブランドではありません。




日々の体験をエネルギーに満ちた特別なものに変えてくれる存在であり、

人生のあらゆる場面に革新をもたらしてくれる存在でいたいと考えます。



GET IN TOUCH

その他、ご質問やご意見等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。
わたしたちはお客さまと、お客さまの新しい MATE.BIKE をサポートいたします。

 [facebook.com/matebikejapan](https://www.facebook.com/matebikejapan)
 [@matebikejapan](https://www.instagram.com/matebikejapan)
 [@matebike_jpstore](https://www.instagram.com/matebike_jpstore)

株式会社 MATE.BIKE JAPAN
107-0062
東京都港区南青山 6 丁目 8-18
<https://mate-bike.jp>